

東海大学通信工学同窓会（TASC）代議員各位

2021年 6月7日

2021年度、東海大学通信工学同窓会（TASC）代議員会  
電子メール等による代議員会各議案可決の件

通信工学同窓会事務局長

当会の活動に対し、ご支援を頂き、ありがとうございます。

さて、ご連絡させていただきましたとおり本年度（2021年度）の代議員会を電子メールを中心とした、ご承認を頂く形式としました。

その結果、「否認無し」により各議案は承認（可決）となりました。

本来、代議員会を開催して実施すべきところですが、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う電子メールを中心とした形式での開催と致しました。ご理解ご協力に感謝いたします。

当会も活動拠点となる母校の入校制限や、重要拠点であった校友会館（霞ヶ関）の閉鎖もあり、活動への制約も受けておりますが活動方針は変えずに再開を目指しております。

世代を越えた当会ですので、「活動停止はしょうがない」「コロナに負けている」など色々な意見があるとは思いますが、公務員の歓送迎会の宴会が報道により非難を受けた記事も記憶も新しいところです。大学を母体とした本会も、活動は安全サイドに進める必要があります。

現状の情勢は皆様ご承知のとおり、ワクチン接種開始も当初予定から大きく遅れ、更に変異株の発生により更なる急速な感染拡大もあり延期となってしまった東京オリンピック・パラリンピックも当初計画による完全な形での開催は難しい状況になっています。その後には通常に戻るとは思っていますが、以前とは違う生活様式や経済構造が待ち構えていると思いますので、それに追従していく必要も感じております。

その状況下ではありますが、当会としては活動の機会を伺いながら、進めていきたいと考えております。また、活動再開に際しましては皆様から頂いた会費を有効活用できることも含め、検討していきたいと思っております。

代議員、また御家族の皆様にとって、今以上に有意義な生活が過ごせるよう改めて心からお祈り申し上げます。

以上、今後とも宜しく願いいたします。